

<b>科目名：歯科衛生士概論</b>		必	2単位
( Introduction of Dental Hygienists ) 履修年次/時期：1年次 前期                      授業形態：講義 担当教員：片岡 あい子（実務経験有）、伊ヶ崎 理佳（実務経験有）			
学修目的	歯科衛生を実践して人びとの健康づくりを支援する者となるために、保健医療人としての基本的態度について理解し、多様な科目において知識・技術を習得する態度および倫理的思考法の基礎を修得する。 CP（1・2・3・4・5・6）、DP（1）に関連する。 科目 No. S1C08H19		
到達目標	① 歯科衛生士の定義を述べることができる。 ② 歯科衛生業務の構成要素を説明できる。 ③ 業務実践にあたって、クリティカルシンキング・批判的に思考する意義を説明できる。 ④ 歯科衛生過程の6つのステップと意味を説明できる。 ⑤ 歯科衛生士による健康づくり支援は、患者（クライアント）第一に実践される理由を説明できる。 ⑥ 業務記録の意義を説明できる。 ⑦ 歯科衛生の実践は倫理的でなければならない理由を述べることができる。 ⑧ インフォームド・コンセントにおける患者と保健医療者双方の権利と義務を説明できる。 ⑨ 歯科衛生業務の実践には、コミュニケーション力が必要である理由を説明できる。 ⑩ 歯科衛生業務を実践するには、判断力と習熟した技術が必要である理由を説明できる。 ⑪ 保健・医療・福祉専門職それぞれの業務の概要を説明できる。 ⑫ 多職種との連携とチーム医療について概説できる。 ⑬ 歯科衛生業務と医療安全管理とを関連づけて説明できる。		
授業概要	講義：歯科衛生士の定義・業務を学ぶ。また、クリティカルシンキングのための歯科衛生過程および業務記録を説明でき、多職種とのチーム医療について理解する。		
評価方法	授業態度（10%）、本試験（90%） 試験に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・ 復習時間	【予習】2時間 【復習】2時間		
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論』一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版		
参考書	『歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版』全国歯科衛生士教育協議会監修，医歯薬出版 『歯科診療補助論 第2版』全国歯科衛生士教育協議会監修，医歯薬出版		
オフィス- 連絡先	片岡 あい子 月～金 16:40～17:00 3号館2階研究室 kataoka@kdu.ac.jp 伊ヶ崎 理佳 火～木 16:40～17:00 3号館2階研究室 ikazaki@kdu.ac.jp ＊不在の場合はメールにて連絡を下さい。		